

経営理念

地域社会に密着し、お役に立つ信用金庫として信頼される
健全経営をモットーに、効率経営に全員参加する
公平、適切な人事管理によって、活力みなぎる職場をつくる

経営のテーマ

新たな Face to Face への挑戦

～デジタル社会における信用金庫の真価の発揮を目指して～

お客さまに提供する
価値の強化

● DX推進による新たな営業態勢の確立

デジタル技術を活用することで、これまで金庫がお客さまに提供してきたFace to Faceの付加価値をさらに高めます。DXは単なる事務の効率化ではなく、お客さまからの相談業務に対応する時間を生み出すために取り組みます。

職員満足度向上による
人財育成の強化

● 職員のスキル把握と能動的なキャリア形成支援の実施

職員満足度の向上にはこれまで以上に力を入れて取り組み、地域に貢献できる人財を育成します。職員が年齢・性別・役職を問わず、多様性を発揮して活躍できる金庫にします。

適切なリスク管理による
経営基盤の強化

● リスク管理の高度化とお客さま本位を軸とした営業の実施

経営環境の変化を踏まえた適切なリスク管理(マネロンなどの対策、サイバーセキュリティ、法令などの遵守態勢の強化)を徹底していくことで経営基盤を強化し、職員から愛され地域のお客さまから信頼される金庫になります。

■ コンプライアンス (関連 P33)

コンプライアンスの目標は、伝統的言葉でいうと「信用の維持」であると考えます。

信用をそこなうような問題を起こさないために、日々起こる一見小さな問題を見逃すことなく、これに全力を挙げて対応することをお約束します。

的確な対応をするために、

問題を金庫の内外に広く開示し(ディスクロージャー)、

(1) 幅広くご意見、ご批判を受け(草の根民主主義)

(2) どのように難しい問題であろうと、必ず解決できる、少なくともコントロール可能であるという信念をもって、(人間の能力に対するゆるぎない信頼)

(3) 具体的で実現可能な対応策を一步一步ステップアップしながら実施していきます(プラグマティズム)。

みなさまからの、率直なご批判、ご提案、そして建設的なご助言を、心からお願いするところでもあります。